

イチオシ!

M OVIE

『サファリ』

シカに似て角の立派なニアラは1,600ユーロ、ウシカモシカの異名を持つヌーは615ユーロ。これはナミビアのハンティング・ロッジでの動物の狩猟料だ。現在、サハラ砂漠以南のアフリカ24カ国では野生動物の狩猟が許可され、年間1万8,500人もハンターが動物の皮や頭だけを目的とした“トロフィー・ハンティング”を楽しんでいる。アフリカ諸国にとって、これが貴重な観光収入となっている現実もあるが、合法でお金を払えば全てが許されるのだろうか。ハンティングをレジャーとして捉える海外のハンターたちと、彼らが狩猟した獲物を解体して、余った肉を黙々と食べる現地の人々との対比がくっきりと浮かび上がる。



WDR Copyright ©Vienna 2016

2016年／オーストリア／90分

監督：ウルリヒ・ザイドル

出演：ジェラルド・アイヒンガー、エヴァ・ホフマン、マニュエル・アイヒンガー他

公開：1月末よりシアター・イメージフォーラム（東京都渋谷区）他

全国ロードショー

URL：www.movie-safari.com

配給：サニーフィルム

E VENT

『第25回ワン・ワールド・フェスティバル』

西日本で最も大きな“参加型×交流型”の国際協カイベント「ワン・ワールド・フェスティバル」が今年も開催される。NGO・NPO、政府系機関、国際機関、企業、教育機関などが一堂に会して活動を紹介する「ワールド・ビレッジ」や、織物や楽器などを体験できるワークショップ、ステージでの音楽やダンスなど、プログラムが満載。さらに、世界の食を楽しむ企画がある他、モンゴルの住居ゲルも用意される。3カ所の会場を回って、世界が抱える課題のために自分が何をできるか探してみよう。



会期：2月3日（土）、4日（日）10：00～17：00

会場：北区民センター、扇町公園、カンテレ扇町スクエア1階ステージ（大阪府大阪市）

URL：www.interpeople.or.jp/owf

問：ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会事務局

TEL：06-6777-1039

B OOK

『ぼくは13歳、任務は自爆テロ。 テロと紛争をなくすために必要なこと』

30年以上続く内戦の終わりは見えず、無政府状態が続く、自爆テロが頻発するソマリア。どうしたらテロをなくすことができるのか。著者は2011年にNGO「日本ソマリア青年機構」を立ち上げ、2017年からはNPO法人「アクセプト・インターナショナル」の代表理事として、ソマリア人ギャング団やテロ組織から足を洗った若者を社会に復帰させるプロジェクトに取り組んできた。「テロリストとして生まれた人は誰一人いない」。国際協力の中でも置き去りにされがちなギャングやテロといった課題に真正面からぶつかる強い信念が伝わってくる。



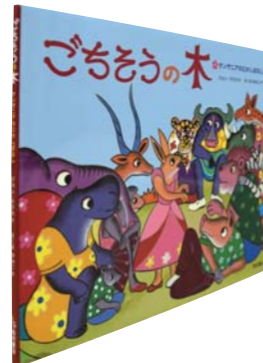
この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

永井陽右 著
合同出版
1,512円（税込）

B OOK

『ごちそうの木 タンザニアのむかしばなし』

むかしむかし、日照りが続いて食べ物が無くなってしまった土地に、たわわに実のなる大きな木が一本。その実が採れずに困った動物たちは、賢いカメにどうしたら良いか聞きに行くことに。小さなノウサギが“自分が行く”と名乗り出たものの、大きい動物が行くべきだと反対され、ゾウとスイギュウが出掛けるのだが——。タンザニアの南西に住むフィパの人々が語り継いできた愉快的な昔話を、同国の近代絵画ティンガティンガで描いた一冊だ。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

ジョン・キラカ 作
さくまゆみこ 訳
西村書店
1,620円（税込）